



平成21年12月8日

各位

上場会社名 昭和電工株式会社
 代表者 取締役社長 高橋恭平
 コード番号 4004 東証第1部
 問合せ先 執行役員 IR・広報室長
 佐藤勝信
 TEL (03) 5470 - 3235

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月30日に発表しました平成21年12月期連結業績予想を修正いたします。

記

1. 平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正

(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 ^注
前回発表予想(A) (平成21年7月30日発表)	百万円 670,000	百万円 △17,000	百万円 △34,500	百万円 △46,500	円 銭 △37.27
今回修正予想(B)	680,000	△8,000	△26,500	△41,500	△32.16
増減額(B)－(A)	10,000	9,000	8,000	5,000	
増減率(%)	1.5%	—	—	—	
ご参考 前期実績 (平成20年12月期)	1,003,876	26,792	9,793	2,451	1.96

注：今回修正予想の1株当たり当期純利益の予想値の算出にあたっては、平成21年9月29日公表の公募増資等による新株式の発行による発行済株式数の増加に加え、同日公表の当社による昭和炭酸株式会社の株式交換契約（実施予定日：本年12月24日）による発行済株式数の増加を反映しており、株式交換については公表日の予定どおりに新株式が発行される前提で算出しております。尚、前回発表予想時においては、その時点における期中平均株式数の見通しに基づいて算出しております。

2. 連結業績予想修正の理由

前回予想と比較し、第3四半期(7-9月)業績が予想織込みを上回ったことに加え、第4四半期(10-12月)についても業績は引き続き回復基調にあり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

全セグメントともに前回予想比増益を見込みますが、特に電子・情報セグメントにおいて、ハードディスクの需要増により出荷枚数が予想を上回る見込みです。無機セグメントにおいては、電極の出荷数量が想定を小幅に上回る見込みです。また、アルミニウム他セグメントにおいては、顧客業界の稼働率が緩やかながら想定より改善しており、コストダウン施策の効果もあり増益を見込みます。

(ご参考)平成21年12月期連結業績予想 セグメント別売上高、営業利益(連結)

(単位:億円)

		通期業績予想(連結)			前年実績 (H20.1~H20.12)
		前回予想 (H21.1~H21.12) H21.7.30 発表	今回予想 (H21.1~H21.12) H21.12.8 発表	増 減	
石油化学	売上高	2,350	2,330	△20	4,002
	営業利益	65	75	10	△13
化学品	売上高	960	950	△10	933
	営業利益	△5	5	10	53
電子・情報	売上高	1,220	1,270	50	1,888
	営業利益	△150	△110	40	93
無機	売上高	470	530	60	888
	営業利益	20	35	15	192
アルミニウム 他	売上高	1,700	1,720	20	2,328
	営業利益	△65	△50	15	△2
共通・本部	売上高	0	0	0	0
	営業利益	△35	△35	0	△55
計	売上高	6,700	6,800	100	10,039
	営業利益	△170	△80	90	268

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上